

■1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

定価100円



施設のなかの ぴかっとアート!



湖南ホームタウン陶芸活動の作品

かわばた さとし
川端哲志さん

コロナ終息を願い、
アマビエを製作されました。

CONTENTS

② 特集 コロナに負けるな! ～障害児父母の会座談会～

⑤ レポート ぼのハウスの一年

⑥ お知らせ ・新型コロナウィルス感染にともなうイベント中止の お知らせと今後の予定 ・医療情報共有システム(MEIS)について

Dr.植松のQ&A
「新型コロナウィルス感染対策における障害児者への
適切な配慮は何でしょうか?」

⑦ トピックス 医療的ケア児等医療情報共有システム 「MEIS」開始! その特徴と利用について 縁の下の力持ちサン

⑧ 障害者権利条約ってなに?「第21条a項」

題字 酒井雄哉大阿闍梨



かいつぶりエッセイ

VOL.46

障害者理解を通じて 医療人の基本姿勢を育む

私は2020年の3月まで、30年滋賀医科大学で教育や研究に従事してきました。在職中には学生教育に多くの皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

滋賀医科大学では、他大学ではない「障害者理解を通じて医療人の基本姿勢を育むプログラム」が実施されていることを存じでしょうか。1年生に対しては、医学生・看護学生の合同授業として、びわこ学園の口分田先生や琵琶湖病院の藤田先生(ここは、聴覚障害のある医師で手話通訳を介しての授業)などの講義があり、夏休みを利用して医療機関だけでなく各種福祉施設やサマースクールに参加することを20年以上続けてきました。医師や看護師を志す学生に、地域社会で生活する人たちが抱える困難が多様であること、その人達を支えるのは専門家だけではないことに、医師や看護師はその一員であることに、まず初めに気づいてほしい考え、こうしたプログラムを練り上げました。医学部に入学するまでの学生達の体験は、受験勉強に制約されて狭い世界であることが多く、障害を抱えた人たちやその家族との交流を経験した者はごく少数です。医学知識で頭が埋め尽くされる前に、体験的に理解してほしいと、入学直後からこうしたプログラムが組まれています。

そもそも、2001年まで、医師や看護師には「目が見えない者、耳が聞こえない者には免許を与えない」という、絶対的欠格条項があり障害のある学生を門前払いしてきた歴史があり、障害者理解に乏しい特性があったのです。滋賀医大では、在学生の事故で完全四肢麻痺となった医学生や、絶対的欠格条項が廃止された後全国で初めて誕生した高度難聴の医学生の修学支援を通じて、障害者への理解が教職員や学生に広がってきたように思います。

こうしたプログラムを経た卒業生が、医師として看護師として皆様の身近にいると思います。さて、その成果はいかがでしょうか。

エッセイストプロフィール

びわこリハビリテーション専門職大学

教授 埼田和史さん

障害があつても医師としての能力を発揮できることを
学んだ埼田和史さん



1983年	滋賀医科大学卒業
1983~87年	総合病院岡山協立病院内科
1991年	滋賀医科大学大学院修了 同大学助手
1996年	同大学講師
1998年	同大学助教授
2000~2001年	スウェーデン王立労働生活研究所上級研究員
2007年	滋賀医科大学社会医学講座 衛生学部門准教授
2020年	びわこリハビリテーション専門職大学教授

※2020年に第71回保健文化賞受賞/
頸肩腕障害の調査研究に取り組み、手話通訳者の健康を守るルールを普及させ、手話通訳者の健康管理制度の構築に貢献したことで受賞

特集

コロナに負けるな! ～障害児父母の会座談会～

今年は新型コロナ感染で自粛規制がひかれ、まず学校が3月から休校となりました。特別支援学校に通う児童や生徒らの保護者も同様で、急きょ自宅での子どものケアが必要となりました。感染予防でソーシャルディスタンスが求められる中で約3ヶ月の自粛期間、障害児を抱える保護者と子どもは家庭でどのような状況だったのでしょうか？

また、コロナの時代を迎え、どのような課題が見えてきたのか？重症心身障害児を抱える保護者3人で座談会を開き、自粛期間の思いを赤裸々に語っていました。

Q1 学校が休みとなり、どのように変わったんでしょうか？

B 子どもと24時間一緒に、外にも出られなかつたので、その全介助の毎日が大変でした。私の子どもは土曜日の放課後等デイサービス（以下、「放デイ」と略）と同じで朝9時から夕方4時までで、ほぼ1日預かっていただけのですが、基本週1回だけ、学校は自粛していたので親としては辛かったです。

A 私の子どもは高等部に行っていて、通常通り放デイがありました。バスの送迎も密になるので、「家族で送れる人がいたら個人での送迎をして欲しい」ということで、親の負担はきつかったです。

C 子どもが普段利用している放デイは事業所の対策として、時間短縮（自宅で昼食を済ませて12時～16時）での開所でした。事業所での送迎も密になるため、保護者送迎になりました。事業所のしっかりした対応は当然だと思いますが、この場合は私は仕事を休むしかなかったんです。

健常の子どもたちのように一人で家に置いておくことができないということも、不安感を増発させたんですね。



昔に比べ今は放デイが充実しているので助かったね！もし、この状況がなければこのコロナ禍はもっと大変！

学校の代わりの放デイは朝からだったので助かったけど、みんなが集中してそこが蜜になっていたから、多少不安もあったね！

休学中の学校での一時預かりは、県内の養護学校でも対応の違いが随分あったし、学校内でも対応が違って戸惑いがあったね！

Q2 子どもさん自身への影響は、どのようなことがありますか？

B 本人が「これがしたい」と言えないで、私もどうしてあげたらいいのか、もう一人子どもがいるので、ずっと一人に構うことができず、本人は時間を持て余していたと思います。介助と朝食・昼食・夕食の繰り返しの毎日でした。

C 刺激がなく、1日ダラダラと過ごしている感じでしたね。本人は自分で何もできぬので、常に親が構って本を読んであげないといけません。他に二人きょうだいがいるので、一人に構ってられません。健常な子は公園行きたいと言うけど、障害の子は行けません。きょうだいで一緒のことができなかつたことも辛かったです。

A 家にいて動かないでお腹も空きません。学校に行っている時は7時には朝食を食べさせていたのが、8時とか9時とかになり、子どもの生活リズムを狂わせてしまっていましたね。子どもはコロナだから学校が休みだと分からず、「なんで学校行かないんやろ？」と思っていたのではないかでしょうか。自粛が長くなり、だんだん退屈してイラついた様子でした。

湖南ホームタウン の新型コロナウイルス感染症対策

GoToトラベル、GoToイート、GoTo商店街など感染症リスクが高まる国の施策がどんどんと始まっています。湖南ホームタウンのような生活施設においては、感染源をシャットアウトする対策や、感染者が発生したとしても、他に感染を広げることなくクラス一とならない対策が求められます。

現在、何度かの改定をへて『湖北タウンホーム・湖南ホームタウン・ぼのハウスにおける新型コロナウイルス感染症への対策

（R2.10版）』で示された対応を実施し感染予防に取り組んでいるところですが、施設利用者の中には他の事業所への通所や外出支援の利用をされたり、併設された診療所の患者さんがおられたりして多くの出入りが発生します。

感染リスクが高まる中、職員は不要不急の外出自粛の継続をし、業務においては十分な換気、食事の時のシールド利用など出来ることを確実に実施しております。



座談会参加者プロフィール	子どもの1週間のスケジュール					お母さんの勤務状況
	月	火	水	木	金	
●Aさん／パート勤務 【家族構成】父、母、子どもひとりの3人家族 【子どもの学年】養護学校高等部1年生	学校&放デイ（パート）	学校&リハビリ	学校&音楽療法	学校&放デイ（パート）	学校&リハビリ	グループホームに放デイのある月と木パート勤務
●Bさん／パート勤務 【家族構成】父、母、子ども2人、義父母の6人家族 【子どもの学年】養護学校小学部2年生	学校&リハビリ&放デイ	学校	学校	学校	学校	障害者施設で火～金の間で1日か2日だけパート
●Cさん／パート勤務 【家族構成】父、母、子ども3人の5人家族 【子どもの学年】養護学校小学部3年生 ※リハビリは取れる時に	学校&放デイ	学校&リハビリ	学校&放デイ	学校&リハビリ	学校&放デイ	障害者施設で火～金の間で1日か2日だけパート

Q3 そんな状況下で外からの支援を得ることはなかったでしょうか？

C 夫が早く帰れる仕事に変わったので、以前から入浴は家族でしていました。通常の放デイだけの利用で、訪問介護の利用はしていませんね。

B 子どもが小学校1年生の時に、いろんな人に関わってもらおうと訪問介護を始めましたが、私の家では祖父母がいるので、コロナ禍では難しく、今は訪問は控えています。

A この先のことや私自身の体力を含めて、他人に関わってもらう機会をつくるため、中学校から入浴介助にヘルパーさん来てもらっています。コロナ禍でもいつも通り、週2回お風呂に入れもらっています。お互いが感染対策をしながら、生活を維持しています。

コロナの不安が訪問介護にも影響を与えていたんですね。

Q4 現在は学校と放デイとリハビリの生活が戻ってきているかと思いますが、学校や本人の様子で変わったことはありますか？

B 家での自粛が始まって1ヶ月ぐらい経つから、寝ない食べない状態で、睡眠障害は今も残っています。コロナにおける影響かなと思っています。

A 6月以降、学校生活が段階を経て戻ってきました。ただ、今度は蜜を避ける対策として、参観や、運動会、校外学習、修学旅行などの行事がほとんど縮小や中止となりました。子どもたちの経験や体験の機会が減ったことは、本人にとっても非常に残念なことです。

湖北タウンホーム の新型コロナウイルス感染症対策

毎月2回、定例で対策委員会を開催しています。この委員会は所長・サビ管・看護係長・栄養士の4名のメンバーで構成しています。協議している内容は①市中感染の状況把握②マスク等衛生用品の在庫確認③職員への感染対策の啓発文書発信④有事の際のゾーニングとその環境整備⑤移動支援による利用者の外出ガイドライン策定⑥利用者とご家族への情報発信など多岐に亘ります。

また、湖北圏域では他の福祉事業所との情報交換も密にしながら、圏域内で連携して感染予防に努めています。最近では、感染者が生じた場合のサポート体制（職員派遣支援事業）について、地域の自立支援協議会が実施要綱をまとめ、圏域内の各事業所に派遣職員の登録を呼びかけています。コロナ禍の影響で、こども文化祭もご家族やボラさんの参加を見合わせて、まさしく身内で規模を縮小して開催しました。利用者の外出支援も足踏みせざるを得ず、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される今冬を迎え、まだまだ出口の見えない状況です。



Q6 では、最後にコロナ禍での皆さんの気持ちの変化など、ざっくばらんにお願いします。

B 障害の子は泡遊びをしたり、小麦粉を触ったり、その感触が刺激になって勉強になっているんですね。だから家では「ちょっと待って！」ばかりでした。それが親のジレンマで、構ってあげたいけど、できない、という葛藤が常にありましたね。

C 確かに。声を上げないのでほつといってしまうんですね。健常な子は、学校がなくて喜んでいても、次第に遊んではばかりしていると自分から不安になってくるんですよ。それが障害児だと受け身で、何がしたいのかも分からぬ。自身も情緒不安定になっていて、親としてめっちゃ可哀想と思う時と、ずっと一緒にいるとうとつおしいな、と思う気持ちが交互にありましたね。

A B 同じ! それほどでもない状況で泣いていると、「何か文句あるん?」てね!(笑)

C 親としても読み取れないのが辛いですね。コロナだからというわけではないのですが、暇だったからか余計考えてしまいましたね。

A 私自身も自粛中にふと考え過ぎてしまうこともあるって、落ち込んだり、自分を責めたりしました。今、少し友達と会ったり、話ができるようになり、みんな一緒に…と気持ちが楽になっています。人がつながることは大切だと改めて思いますね。

まだコロナは終息していません。今後、クラスターが出て、家庭での自粛要請が出る可能性もあります。障害児だけでなく、その子どもを見る親の双方が計り知れない精神的不安感があったことも座談会の話の中から見えてきました。子どもも親も、できるだけストレスがないような対策を教育現場でも考えて欲しいし、そのために親も声をあげて状況を知ってもらうことが大事なんだと思いました。

心配事やお尋ねになりたいこと等がありましたら、事務局等を通じてお寄せ下さい。

滋賀県障害児協会
乗光秀明理事長から

有史以来、人類の歴史は感染症との闘いの歴史と言っても過言ではありません。エジプトのミイラから天然痘の感染痕が見つかっています。中世ヨーロッパのペストは人口の1/3が命を落としたといわれます。このような感染状況をパンデミック(和訳は感染爆発)と云います。

わが国では欧米と比べて若干低い水準で推移していますが、世界全体では感染者数4160万人・死者114万人(2020.10.24現在)を数え、なお拡大の勢いは衰えていません。

感染症のポイントは、感染力と重症化にあります。重い障がいがある方々にとって、抵抗力と基礎的な体力や持病との関連で評

価しなければなりません。また、福祉施設では集団でも生活や活動を基本としている関係で、感染拡大のリスクが高いと云われています。

当法人では、4か所の事業体で、国や県が示す感染のステージに対応して、感染防御の環境整備とオペレーションの更新を続けています。「正しく恐れる」「科学的な根拠をもとに判断し行動する」という基本中の基本を守ることを、維持していきたいと思います。

滋障連会員の在宅の方であっても、心配事やお尋ねになりたいこと等がありましたら、事務局等を通じてお寄せ下さい。医療スタッフの助言等につなげる工夫をしたいと考えています。

レポート

ぽのハウスの一年

ほのハウス 施設長 遠藤 正一

令和元年6月1日に念願だった「ぼのハウス」が開所いたしました。名称の中の「ぼの」はハワイの言葉で心地よいの意味で、「心地よい家でありたい」との想いが込められ、また、入居利用者さんのことを住人さんとお呼びしています。

住さんのほとんどが、重症心身障害者と呼ばれる方々で、意思表出が難しい方々です。それだけに、日常生活と健康上の基本バロメーターである「よく食べれている。よく眠れている。しっかり排泄ができている。そして、笑顔がいっぱいある暮らしができている」に重点をおきながら、ホーム内の環境づくり、職員の対応、支援の質の向上に集中する形でスタートしました。

開所時5名、令和元年9月に1名。令和2年5月に1名。と増えていき、現在、定員7名が埋まっております。

住人さんに向き合っていく上で、最も大切なことは、「ミクロの目を持つこと」、つまりは体調変化の微妙なサインを見逃さないことです。もう一つの大きな特徴は、グループホームのみ人員基準では、重症心身障害のある住人さんへの充実した支援が実施できず、「個人単位で居宅介護を利用する」の制度を導入し、食事・排泄・入浴の身体介護、そして、



▲ぼのハウスの外観

常時見守りが必要な方には重度訪問介護を適用していただきながら、マンツーマンの支援を実現していることです。

1年が過ぎ、皆さん、毎日元気に機嫌よく過ごされ、食事も完食されていますが、排便の状況(リズム等)やたまに体調を崩される方の状況を見ると、やはりご自宅のときとは違った新しい環境が微妙に影響していることが伝わってきます。何十年も過ごされたきたご自宅に比べれば、やっと1年が過ぎただけです。大きなケガ・事故・病気がなく1年が経ったことに感謝しつつ、更なる「安心と広がり」培われるグループホームを目指していきたい思います。



▲ぽのハウスの住人の皆さん

お知らせ

新型コロナウィルス感染にともない、
今年は予定されていたものはすべて中止となりました。
来年は現在のところ2つの行事が予定されています。

●中止となった行事

《県肢連関係》

- ◎令和元年度総会
(令和2年6月6日)
- ◎第64滋賀県肢体不自由児者福祉大会
(令和2年6月6日)

《全肢連関係》

- ◎全国大会
- ◎近畿大会
- ◎近畿ブロック指導者育成セミナー

●来年開催される予定の行事

親子療育キャンプの開催

- 日時 令和3年2月予定
- 会場 湖南ホームタウン



第13回立命館守山中学校 障がい児理解教育合同講演会

- 日時 令和3年3月予定
- 会場 立命館守山中学校

昨年の立命館守山中学校
障がい児理解教育合同講演会の様子▶



Dr.植松の Q&A



植松潤治先生プロフィール

湖北グループクリニック、
かいつぶり診療所総院長
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本リハビリテーション
医学会認定臨床医
平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同
大学院卒業、医学博士。日本小児科学会、
日本小児神経学会、日本リハビリテーション
医学会、日本児童青年精神医学会、日本
重症心身障害学会所属。介護支援専門員。

Q

新型コロナウィルス感染対策における 障害児者への適切な配慮は何でしょうか?

A

滋賀県障害児者と父母の会連合会では、全国肢体不自由児者父母の会連合会と共に、政府並びに滋賀県に対して緊急要望書を提出しています。その一部をお伝えします。

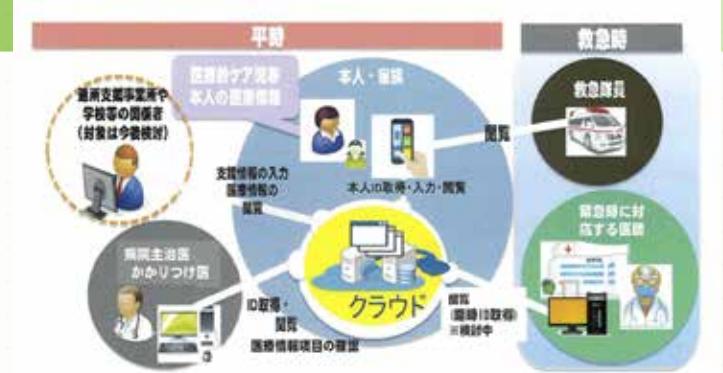
新型コロナ感染症が急増した際、優生思想につながる障害を理由とした命の選別があつてはなりません。そのために、下記要望事項を確実に行っていただきますようお願い申し上げます。

記

- いかなる状況においても第三者による命の選別を行わないこと
- 重症化に対応できるよう人工呼吸器の増産と確保、集中治療室の増設(増床)
- 医療的ケアを必要とする児者や難病患者への感染予防対策上、必要とする物資(消毒用アルコール、マスク、防護服など)や常時必要とする衛生材料(人工呼吸器に使う精製水、滅菌不織布ガーゼなど)の確保と確実な配給
- 長引く休校・障害者通所施設の休業・短期入所の閉鎖等に伴う在宅生活での介護支援体制の確保
- 感染者の医療、看護、介護にあたる人々の報酬上の評価とその家族の安全安心のための保障(保育を必要とする乳幼児保護体制、感染した時の保障等)
- 感染者の医療、看護、介護にあたる人々の心のケア(PTSDに近い症状が報告されています)体制の確保
- 長引く休校に伴う在宅学習での閉塞・孤立感を軽減するために定期的なICTを用いた家庭面談等、特別支援教育に特化した在宅学習環境の整備
- 長引く休校に伴う在宅学習での閉塞・孤立感を軽減するために特別支援学校の臨機応変な開放
- 今後の新型コロナ感染症やインフルエンザ感染症予防に対するワクチン接種には、重度障害児者の免疫力の脆弱性を鑑みて、優先接種対象者となるよう配慮してください

トピックス

医療的ケア児等医療情報共有システム(MEIS)への登録をしましょう!

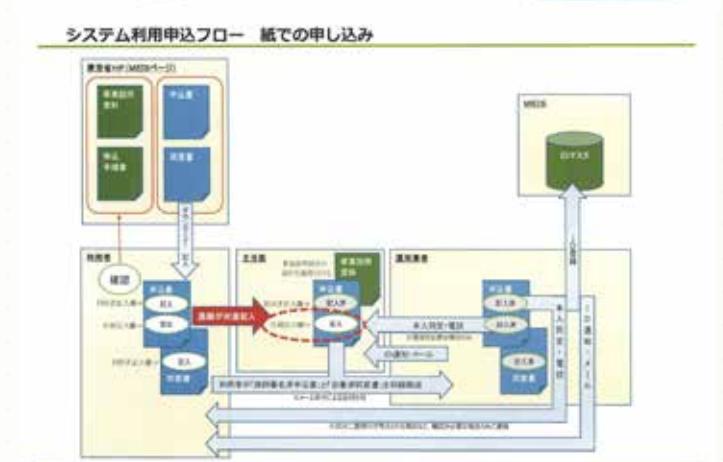


医療的ケア児等が旅行などで出かける場合、急な発作に備えて、ご家族が外出先周辺の病院の情報を集めたり、本人の医療データを持ち歩いたりしなければいけませんでした。

全国どこでも必要な医療を受けられるように、かかりつけの病院以外でも医療等に関する情報を共有したい、そんなご要望にお応えするのが、「医療的ケア児等医療情報共有システム(MEIS)」です。

本人やご家族等が、医療等に関する情報を手元のスマートフォンやパソコンで入力して、データベース化。もしも外出先で救急搬送された場合は、救急隊員や搬送先の医療機関が情報を閲覧できるようになります。

厚労省HP(MEISページ)に利用申し込みに必要な資料をダウンロードするサイトがあります。そこから必要書類をダウンロードしていただき、必要事項を記入し(主治医の署名も必要)郵送申し込みとなります。少々お手間をお掛けしますが、大事な個人情報を有効に利用するためには丁寧な登録が必要であるとご理解いただき、是非多くの子どもたちの旅先や災害時での医療安全を確保してくださいね。



縁の下の力もちサン



ご支援ありがとうございました!
令和元年8月～令和2年10月分(順不同、敬称略)

寄付金

【湖南ホームタウン】情報労連滋賀県協議会、奥野俊介、特定非営利活動法人 音楽療法の会 さざなみ、武宏平、青木えい子、植松潤治、大阪府肢体不自由児父母の会、京都市身体障害児者父母の会連合会、和歌山県障害児者父母の会連合会、NTT西日本、中村宗寛、高谷秀男、乗光秀明

【湖北タウンホーム】伊藤幸子、松田功、米田静江、八木清司、池田誠造、林英子、豊原勝文、虎姫赤十字奉仕団、中島秀和、高橋敏彦、栗原賢治、川添喜美恵、池田誠造、高畠とし、南部バス工、千田守、林英子、長浜市社会福祉協議会 善意銀行

【ぼのハウス】大津市障害児者と支える人の会、匿名1名

【父母の会】ヴォーリス学園

【湖南ホームタウン】辻寅建設株式会社、服部通夫、田中久雄、岩木敏雄、びわこ学院大学短期大学部、びわこ学院大

【湖北タウンホーム】虎姫赤十字奉仕団、楠博和、国友工業、エコライフ事業部、ライフ、ケムコ商事、伊藤幸子、明電興産、進々堂商光、やまぶき、更生保護女性会、高月分区、湧口美紀、松永道子、真柄博行、中川澄子

書き損じハガキが
ございましたら、
父母の会事務局まで
よろしくお願いします。

物品ご寄付

書き損じハガキを含む

ボランティア

【湖南ホームタウン】吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会、車椅子レクダンス矢車草の会、マナビイ滋賀、青人草、レイカディア大学、ききよう、近代大正琴なごみ会、中村洋司、深田芳春、三木緑明、森田孝子、村山晴美、饗庭夏生、吉岡信子、茶谷正子、樋口操子、大倉ミヤコ、芝田規子、津田貞子、林田博惠、山田晃子、寺井美耶、美濃部文化、森井邦彦、園辰男、藤岡民男、北村美代子、田中潤子、高橋サチ子、飯田勝栄、宮川明子、石田義昭、龍谷大学ボランティアセンター、男性ボランティアの会G.A.G.ドリーム18会、男性シニアグループうり坊の会、キラッピ22、チューリップ23、虹の会24、2525会、未来への絆26、岡本美佐子、田中町江、織田阿暉子、志賀まさ子

【湖北タウンホーム】古脇慶子、赤井淑子、伊藤ゆきゑ、横山博志、西川桂子、古山富美子、デルロサリオ恵美、竹越悦子、小柳貞子、住永悦子、中井由紀、中井蘭、豊原勝文、中江友紀、宇野昌予、虎姫老人クラブ連合会、おやじの会、赤十字奉仕団、虎姫児童民生委員、浜竜太鼓、ハンドマッサージ和、長浜ギター、マンドリンアンサンブル、モデラート、明治安田生命長浜営業所、コスモス、ほほえみCLUB

障害者権利条約ってなに?

シリーズ第36回目
皆が知っているのに

イラスト:るーしー小林

2020年のコロナ禍で国や地方自治体から各種支援や補助が出ていました。その詳細情報の周知や申込みの多くが、新聞やテレビではなくインターネットを介してでした。

複雑な申込み手続きをパソコン上でしながら「これ、難しすぎる!歳をとった人や障害のある人で、情報に接したり得たりする機会に機材、手段を持ってなかつたらどうするの?」と現実に感じました。

情報処理機器や環境が高性能になるのはいいことですが、一方でそれに置いてきぼりにされる人を生んでもいるのではないか?と大きな声で問いかけたいです。



障害者権利条約から部分的に抜粋してご紹介します。

第21条 a項

表現及び意見の自由 並びに 情報の利用の機会

締約国は、障害者が、第二条に定めるあらゆる形態の意思疎通であつて自ら選択するものにより、表現及び意見の自由(他の者との平等を基礎として情報及び考えを求め、受け、及び伝える自由を含む。)についての権利行使することができるることを確保するための全ての適当な措置をとる。この措置には、次のことによるものを含む。

(a) 障害者に対し、様々な種類の障害に相応した利用しやすい様式及び機器により、適時に、かつ、追加の費用を伴わず、一般公衆向けの情報を提供すること。

編集後記

通信110号を最後までご覧いただき、ありがとうございます。今年はコロナの影響で、学校の休校、活動の自粛で、私たちが今まで経験したことのない生活を送ってきました。心身共にストレスがかかる生活で、一時はどうなるんだろうかと思ったほどです。

コロナとの生活にも少しづつ慣れ、学校や活動が少しづつ再開されてきています。今回初めて通信の作製に携わることができ、この通信が皆様の生活に役立ったり、ほっと出来るようなものであれば、と思っております。(F&S)





いつも元気でね健診

かいづり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいづり診療所まで
TEL:077-514-1715

【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702

[URL]<http://www.open-mind.jp>
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内

[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702

[URL]http://www.open-mind.jp/about_fubo/

[E-MAIL]info2005@open-mind.jp

■ 1984年 8月20日

第三種郵便物承認 每月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

定価100円